



2020(令和2)年、長田高校は創立100周年を迎え、11月7日(土)に神戸国際会館こくさいホールにて記念式典が挙行されました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会場は在校生と少数の来賓の方々だけの出席となりましたが、YouTubeによるライブ配信によって多くの方々にご覧いただき、盛大な式典となりました(2021年7月現在、9500回を超える視聴回数となっています)。

動画による在校生の各部委員会の紹介だけでなく、100年間のアルバム写真紹介に加え、2016年3月の第88回全国高等学校選抜野球大会や2017年のボカリダンスを中心に、この10年間の歴史を振り返りました。

ライブ配信にご尽力賜りました子守康範さん(32回生)、神戸国際会館こくさいホールのスタッフの皆様をはじめ、多くの方々のご協力により、無事に滞りなく式典を挙行することができました。ご協力いただきましたすべての方々に、深く御礼申し上げます。

式典次第

第一部

1. 開式のことば
2. 黙祷
3. 国歌演奏
4. 学校長式辞
5. 兵庫県教育長挨拶
6. 来賓祝辞
7. 来賓紹介
8. 祝詞・祝電披露
9. 神撫会理事長挨拶
10. PTA会長挨拶
11. 喜びのことば(生徒会長挨拶)
12. 記念事業披露
13. 校歌演奏
14. 閉式のことば

兵庫県立長田高等学校
創立百周年
記念式典

第二部 生徒による喜びの軌跡

1. 吹奏楽部演奏
2. 百年祭序曲
3. 書道部による式典看板作成風景紹介
4. 100年間のアルバム写真紹介
5. この10年を振り返って
6. 各部・委員会の活動紹介
7. 音楽部演奏
8. 僕らのふるさと
9. どうしていつも
10. Gloria(栄えあれ)
11. 校歌演奏

第一部の様子

第一部は、井戸敏三知事、西上三鶴教育長にもご参列いただき、中村晶平校長の式辞に始まり、厳肅な雰囲気のもと行われました。総合司会は永井真菜さん、橋本依子さん(73回生・放送委員会)が務めました。

100周年記念事業推進協議会を代表して玉田敏郎神撫会理事長より、記念事業の一貫として「神撫100周年記念会館 - Astra Hall -」が紹介されました。また、PTAからは選択教室の空調設備やH R教室・選択教室のカーテン、教室用椅子300脚の目録をいただきました。

第二部の様子

第二部は「生徒による喜びの軌跡」と題して、吹奏楽部・音楽部・書道部のパフォーマンスに加え、演劇部の軽妙な寸劇によって、部活動に取り組む在校生の様子が、100年の歩みとともに動画上映により紹介されました。

総合司会の中川西由羽さん、毛利咲月さん(74回生・演劇部)が務め、上映動画作成は、本校国語科教諭・久保淳平(63回生)が行いました。

演劇部の寸劇「髭の男」は主演・志垣昇くん(73回生・演劇部)が、初代校長近藤英也先生に扮した見事な名演を披露し、会場に参列した方々のみならず、ライブ中継をご覧になった多くの卒業生より称賛の声をいただきました。

在校生の声

式典挙行中、さまざまな形で在校生が円滑な進行への補助やパフォーマンスを行いました。その様子を振り返ります。

喜びのことば(生徒会長挨拶)

妹尾 洸季(74回生・生徒会長)

僕が入学する際、あのような舞台に立つことができるなど想像する由もありませんでした。新型コロナウイルスで混乱が続く中、長田高校の100周年をたえる素晴らしい式が挙行できたこと、また生徒会長として、「喜びのことば」を述べられたことを光栄に思います。当日のリハーサルで壇上に立った時からの高揚感や緊張感で、本番の記憶がほぼ残っていません。これから1年、また1年と長田高校が発展するのを願ってやみません。

第一部総合司会

永井 真菜(73回生・放送委員会)

「百周年の時に在籍していると、思いがけず司会のお話をいただいた。巨大な会場に口の中は乾き、一方で手汗は止まらなかったが、出席された方だけでなく、配信をご覧になった方からも温かい言葉をかけていただいた。憧れの舞台で、百周年の節目に司会という大役を務めさせていただいたことを誇りに思う。私はこの春長田高校を去ったが、これからも長田高校のより一層の飛躍を願っている。

